



「読書の魅力を伝える活動推進研修会」



が開催されました。

令和6年8月22日(木)にセンテラス天文館で、令和6年度「読書の魅力を伝える活動推進研修会」が開催されました。「読み聞かせ」のワークショップでは、東市来図書館読み聞かせボランティアグループ「こけけ読み聞かせ」のみなさんによる大型絵本やエプロンシアター、日置市のおかし話より「茂助いさんと古ぎつね」の大型布絵本、手遊びやわらべうなど、工夫を凝らした読み聞かせに参加者たちの笑顔が溢れていました。

また、「アニメーション」(本と人を繋ぐ読書活動の一つ。)のワークショップでは、日置市立東市来図書館の堀之内さんが「国語辞典を食べ歩く」と題して、国語辞典の成り立ちや言葉の意味の解釈が辞典によって全く違うおもしろさを話されました。参加者は『かごんまグルメ辞典』の1ページを制作し、独自の視点や書き方で、自由に表現を楽しんでいました。



【読み聞かせ】

東市来図書館読み聞かせボランティアグループ
「こけけ読み聞かせ」のみなさん



【アニメーション】

「国語辞典を食べ歩く」について
堀之内さん



絵本の読み聞かせ



グルメ辞典を見て歩く!